

# Koyomi

2025 | 令和7年

vol.55 12/20 発行

## CONTENTS

Smile Pick Up!	1
医療連携に関する調査	2
こっそり聞かせてシリーズ／ ワールドカフェ	3
施設長リレーコラム	4

「ありがとう」の  
言葉と笑顔が励み

Smile Pick Up!

よしざわ あやこ  
吉沢 綾子さん

所属／広域養護老人ホーム県央寮

職種／生活相談員

経歴／三条市生まれ

短期大学卒業後

広域養護老人ホーム県央寮に入職

趣味／ショッピング

子ども達の部活動の応援



## ●就職のきっかけ

学生時代に、当施設で実習をさせてもらった際、職員の方々の温かい対応や入所者様一人ひとりに寄り添う姿勢に、深く感銘を受けました。施設全体がとてもアットホームで、温かい雰囲気に包まれており、「ここで私も働きたい」と感じ入職しました。始めは、介護職員として従事していましたが、後に、前任の生活相談員の退職に伴い、上司より声をかけていただきて生活相談員になりました。入職して25年が経ち、毎日いろいろな出来事がありますが、ふとした瞬間にいたずら「ありがとう」の言葉や笑顔が大きな力となり、日々の励みになっています。

## ●大切にしていること

これまでの仕事の中で印象に残っていることは、入所者様から「しっかりしなさい。頑張りなさい。」と励ましの言葉をいただいたことです。支援する立場にあります。が、私の弱っている気持ちを察したのか声をかけてくださいました。こちらも支えられていることを実感し、この仕事を続けていて良かったなど、大きなやりがいを感じました。また、入所者様ご自身では解決が難しい困りごとに對して、ご家族や周りの方の助けを借りながら解決した時、ご本人の安心した顔を見ることができて「良かった」と心から思います。

時には、入所者様同士のトラブルなど、大変なこともあります。が日頃から職員同士で話す機会を作り、課題などは情報共有し、一人でも抱え込まないようにしています。このアットホームで良い雰囲気の職場に助かれています。

## ●今後について

これからも、いただいたご縁を大切に、入所者様に温かい心で寄り添いながら、その人らしい生活を支援していきたいです。チームワークを大切に、職員同士が互いに支え合うことで「ここにいて良かった」と少しでも多くの入所者様から思っていただけるような、温かい雰囲気の施設づくりを今後も目指していきたいです。

# 医療連携に関する調査



調査目的：介護施設等における協力医療機関の確保が令和9年4月から完全施行されます。この完全施行を目前に控え、会員施設の現状を把握するためアンケートを実施しました。

調査期間／令和7年10月1日(水)～24日(金)  
回答数／66件

## 嘱託医契約について

様々な回答をいただいた中で「医師の高齢化」「医師の確保が困難」というキーワードが見受けられました。



特に問題はありませんが、嘱託医も高齢になっており、交代する医師が必要になった場合、地域の医師も高齢や廃業で周邊にお願いできるところがない状況です。

当施設は市街より距離があり、ドクター確保が大きな課題となっています。現在は開業医より診察していただいているますが、いつ契約解除されるか、解約されたら医師の確保が難しく、運営自体もできなくなり、毎年ひやひやしています。



## 協力医療契約について

「要望や問題はなし」という回答が多数を占めました。



年に1回は、病院側との意見交換の機会を設け、緊急時対応の方法等の協議を行っています。



令和9年の義務化に向けて、老施協と厚労省の契約書モデルを参考にしながら作成中。現在契約している協力医療機関は、今回の変更について理解されているため、特に問題なく契約を継続できる見込みです。

## 医療機関（協力病院含む）への入退院や診察について

嘱託医、協力病院と円滑に実施している施設もある一方、診察に時間を要することや、入院期間が長期化する傾向にあるなどの声が聞かれました。医療関係側の事情や体制が優先され、医療との連携はなかなか難しいところです。



最寄りの病院で受け入れ困難となった際には協力病院に行くこともあります。そこからも断られ片道1時間半以上かかる病院に受診となったこともあります。



夜間・休日の急変時に、嘱託医への電話連絡は可能ですが、診察の依頼は出来ないため、施設職員の精神的な負担になっています。

## 加算について

協力医療機関との連携加算は大変重要であり、各施設とも加算を取得したいところです。環境の整った施設では可能ですが、**大半の施設が取得困難**な状況にあるようです。



内科回診4回、精神科2回の診察を実施しています。内科・精神科が同じ医師であるために、内科診察を月4回しなければ加算取得ができないことはとても不満に感じています。



単位数の割に事務作業が多いため新しい加算を取りにくく感じています。人件費高騰、経費高騰局面であり、3年間基本報酬が変わらないのは厳しく、基本報酬を上げてほしいです。



介護保険では貯えない実費について、  
アンケートを実施しました。  
ご協力いただいた皆様ありがとうございました。



## アンケート結果

**Q 電気代**  
(持ち込み家電)は  
徴収していますか?



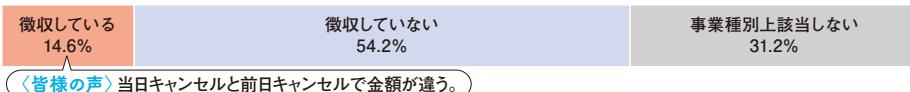
**Q 食費は  
いくらですか?**



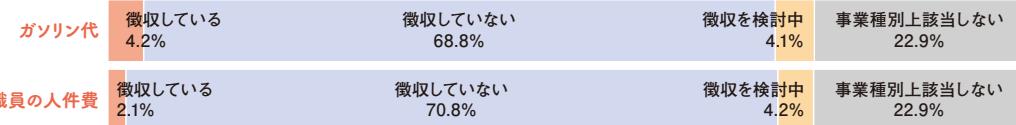
**Q 居住費は  
いくらですか?**



**Q キャンセル料は  
徴収していますか?**



**Q 通院介助時の費用  
(ガソリン代／  
職員の人件費)は  
徴収していますか?**



## ワールドカフェとは?

ワールドカフェとは、カフェでお喋りするようなリラックスした雰囲気の中で、少人数のグループに分かれた参加者が、テーマについて様々な視点から新しい気付きやアイデアを生み出すことを目指す話し合いの手法です。

- リラックスした雰囲気で参加者の心理的なハードルが下がり、自由で率直な意見交換ができる
- 多様な意見で新しい視点や気づきが得られる 等々

全国老人福祉施設協議会でも今年度で第3回となる「JS次世代ワールドカフェ」を開催するなど、注目を集めること手法を参考に、本会でも研修会を実施しました。

（次世代部会研修会）

### 次世代ワールドカフェin新潟



コーヒー片手に  
楽しそうな雰囲気。

対話の中から  
新しい発見!!

（第3ブロック部会研修会）  
ICTだけじゃない!  
私たちの工夫・チャレンジ! 2025



積極的に質問  
が出ました!



次世代部会としても初めての試みであり、期待と不安が入り混じる中での開催でしたが、参加者の知恵と視点が交わり、想像以上に熱量の高い意見交換ができたことに安堵しております。アンケートでも「非常に有意義だった」「また参加したい」と大変ご好評をいただきました。（部会長 関原）

# 施設長 リレーコラム

連載 | vol.55

## 暮らし続けるために その人らしく



北条デイサービスセンター  
施設長  
三富 幸子さん

北条デイサービスセンターは、柏崎市の東端の自然豊かな地にある通所介護施設です。

平成15年(2003年)に柏崎市社会福祉協議会が3つ目のデイサービスセンターとして建設、開設してから、今年で23年目を迎えました。

ご利用者様には、入浴・食事・排泄・運動などの基本支援に加え、個々の生活や、自宅での過ごし方、家の生活スタイルなど、ご利用者様の生活状況を多面的に把握した上で、生活機能の維持・向上を目指した機能訓練を提供するようにしています。最近では、地域の中でデイサービスがその役割を持つようにと、「地域とのつながり」に目を向け、夏季には地域の方々が気軽に立ち寄れる“涼み処”として開放したり、地域サロンへの訪問や、コミュニティセンターとの関わりを取り入れるなどして、利用促進につながる活動を増やしています。

“家がいちばん 家にいたい”という北条の方々は、畑仕事や田んぼをやっていらっしゃるので、足腰は元気です。しかし、冬の北条は雪が多く、自宅にこもってしまう方も多いようです。冬こそ日々の運動や、他の方々と交流する機会が必要なのですが、我慢強く、他人や福祉サービスに頼ることを控える傾向があります。

サービスを利用し始めて変わったという例もあります。長い冬を乗り越え、春になってまた畑仕事や田んぼを続けるためにも、長い冬の間は、当センターを積極的にご利用いただければと思います。

また、ご家族が安心して介護を継続できるよう、ご家族との情報共有や、ケアマネジャーとの良好な関係を保つことにも力を入れています。

私たち職員とご家族とは、お互いが話しやすい関係を築けるよう、その関係づくりを慎重に行ってています。こういった関係づくりの積み重ねから、「デイ」が地域の中に溶け込んだ施設となってほしいと望んでいます。また、ご利用者様には、「住み慣れた我が家で暮らし続けたい」をかなえ、在宅生活が少しでも長く継続できるよう支援していきたいと思っています。



北条  
デイサービス  
センター



暑かったので  
流しそうめん  
しました



今年から  
涼み処  
始めました



七夕飾り  
作り



デイサービスで  
お墓参り実施



ぎおんの  
御神輿



敬老会  
ボランティアの  
マジックショー

### 北条デイサービスセンター

事業所所在地 ● 柏崎市東条627-1

運営事業者 ● 社会福祉法人 柏崎市社会福祉協議会

事業所の種類 ● 通所介護／34名

連絡先 ● TEL／0257-25-3566

E-mail／ks-68@syakyou.jp

### 施設概要

